

令和2年度 国立吉備青少年自然の家教育事業

自然体験活動指導者（NEALリーダー）養成事業

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者養成カリキュラム」に則り、自然体験指導者（NEALリーダー）を養成することにより、青少年向け自然体験活動プログラムにおいて、子供の発達段階に応じて適切かつ安全に指導ができる自然体験活動指導者を育成する。

2. 事業の概要

(1) 期日

前期：令和2年10月 3日（土）～10月 4日（日）1泊2日

後期：令和2年10月17日（土）～10月18日（日）1泊2日

(2) 参加者

① 募集対象・人数

自然体験活動指導者に興味のある18歳以上の方 20人程度

② 参加人数

前期12人（大学生9人、社会人3人）

後期12人（大学生9人、社会人3人）

(3) 講師等

前期：1日目

講習①「自然体験活動の技術 その1」

講師：乗本 雅彦（国立吉備青少年自然の家 主任企画指導専門職）

前期：2日目

講習②「自然体験活動の安全管理」

講師：井上 桂 氏（下関市深坂自然の森 森の家下関 所長）

講習③「青少年教育における体験活動」

講師：土田 豊 氏（中国短期大学 保育学科 准教授）

後期：1日目

講習④「自然体験活動の特質」

講師：増田 直広 氏（公益財団法人キープ協会 主席研究員）

講習⑤「対象者理解」

講師：石川 順雄 氏（尾道市立吉和小学校 校長）

後期：2日目

講習⑥「自然体験活動の指導」

講師：今井 正裕 氏（一般財団法人 大阪府青少年活動財団 理事 兼 野外学校部長）

講習⑦「自然体験活動の技術 その2」

講師：乗本 雅彦 (国立吉備青少年自然の家 主任企画指導専門職)

(4) 企画・運営のポイント

- ① 前期日程をボランティア養成研修と合同で実施した。
- ② 新型コロナウイルスの影響で大学での直接広報ができず、広報手段が限られたため、広報期間を長めに設定することで、多くの申込に対応できるようにした。
- ③ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、概論Ⅰの必須科目でない活動（アイズブレイクや情報交換会などの接触や密接な場面が想定される活動）の実施をなくした。
- ④ 修了試験後のガイダンスで、NEAL リーダー資格取得後に関する情報提供を行った。〔当所事業の案内や上位資格（インストラクター）の取得に向けての講習会情報や履修方法等〕

3. 活動の内容等

(1) 日程

① 前期

10月3日(土)		10月4日(日)	
13:45	受付	6:45	起床・洗面・清掃
14:15	ガイダンス	8:00	朝食
15:00	講習①「自然体験活動の技術その1」	9:00	講習②「自然体験活動の安全管理」
19:00	入浴	12:00	昼食
20:30	休憩	12:45	講習③「青少年教育における体験活動」
22:00	就寝	14:30	解散

② 後期

10月17日(土)		10月18日(日)	
13:00	受付	6:45	起床・洗面・清掃
13:30	ガイダンス	8:00	朝食
14:00	講習④「自然体験活動の特質」	9:00	講習⑥「自然体験活動の指導」
17:30	夕食	10:30	講習⑦「自然体験活動の技術その2」
18:30	講習⑤「対象者理解」	12:30	昼食
20:00	入浴	13:30	講習のまとめ
21:00	休憩	14:00	修了試験
22:00	就寝	14:30	ガイダンス
		15:00	解散

## (2) 活動の状況

### ① 前期



【自然体験活動の技術】



【自然体験活動の技術】



【自然体験活動の安全管理】



【青少年教育における体験活動】

### ② 後期



【自然体験活動の特質】



【対象者理解】



【自然体験活動の指導】



【修了試験】

#### 4. 成果・課題

##### (1) 満足度

満足：100%

##### (2) 参加者の声

- ① 自然体験活動の際や普段の教育の中での考え方に役立てたい。
- ② 教育事業の企画時に、講習で学んだ技能や技術を活かしていきたい。
- ③ 自施設での事業運営やアクティビティの検証、検討時の参考にしたい。

##### (3) 成果

- ① 大学への直接広報ができなかったが、募集期間を長く設定したことで、例年に近い参加人数となった。
- ② 大学生から社会人まで指導経験の多寡によらず、指導者として必要な知識や技能について、体験を通して楽しく理解を深められた。
- ③ 全参加者がNEALリーダーの修了試験に合格することができた。

##### (4) 今後の課題

NEALの前期日程にて、合同で実施したボランティア養成研修の参加者から後期日程への参加申込が今年度はなかった。要因として、新型コロナウイルスの感染拡大による春から秋への日程変更とともに、後期日程の期日が大学の授業と重なることが考えられるため、事前に大学の授業日程を確認の上、開催期日を設定する必要がある。

担当：企画指導専門職付主任 谷山 典